

鎌倉市観光振興推進本部 第10回会議 会議録

日 時：平成22年11月17日(水) 9:00～10:00

会 場：鎌倉商工会議所301会議室

参加者：別紙出欠表のとおり

会議の概要：

開会あいさつ、庶務事項の後、議題の「(1)(ア)鎌倉市第2期観光基本計画の進捗状況とその報告について」では、観光課長から「観光事情(平成22年度版)」の内容説明と、鎌倉市観光基本計画進行管理委員会の〇〇委員長から進行管理状況の報告が行われた。また、「(1)(イ)第62回鎌倉花火大会について」では、〇〇花火大会実行委員長から第62回鎌倉花火大会の決算について報告が行われた。

次に、「審議事項(2)(ア)第63回鎌倉花火大会について」では、鎌倉花火大会個別検討部会中込部会長から、次回花火大会の大会趣旨や予算組み、開催日、実行委員会の組織についてなどの提案がなされ、それぞれの提案を花火大会実行委員会へ引き継ぐことが承認された。

最後に、4その他では、鎌倉市観光協会〇〇専務理事から、今年度の鎌倉まつりや薪能、着物ショー、浴衣ウォークなどの事業について報告され、会議を終了した。

議事の概要：

1. 開会あいさつ
2. 庶務事項
3. 議題
 - (1) 報告事項
 - (ア) 鎌倉市観光基本計画の進捗状況とその評価について
 - (イ) 第62回鎌倉花火大会について
 - (2) 審議事項
 - (ア) 第63回鎌倉花火大会について
4. その他

1. 開会あいさつ

市民経済部長

皆様おはようございます。本日はお忙しい中、また早朝からお集りいただきまして誠にありがとうございます。司会進行を務めさせていただきます市民経済部長の〇〇でございます。よろしく申し上げます。本日は定数26名のうち、17名の委員の皆様にお集りいただいておりますので、この会議は成立しております。なお、本日、鎌倉花火大会実行委員会の委員長であります〇〇様、鎌倉花火大会個別検討部会の部会長であります〇〇様にもご出席いただいておりますのでご報告申し上げます。

それでは、鎌倉市観光推進本部会議設置要綱第6条に基づき、本日の議事を市長にお願いいたします。

本部長

皆さんおはようございます。本部長の〇〇です。本日はお忙しい中、鎌倉市観光振興推進本部の第10回の会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。本年度に入りまして第2回目の本部会議となります。今年度は、すでに鎌倉まつり、鎌倉花火大会、薪能の三大祭りが無事に終了する事が出来ました。この事は、皆様のご理解ご協力によるものだと思っております。改めて感謝申し上げます。また、先の13日、14日におきましては、APECの関連で皆様にご協力をいただきまして、おかげ様をもちまして鎌倉市といたしましても、無事に何事も無く終える事ができました。これも、皆様のご支援ご協

力の賜物であると感謝申し上げます。

今年から来年にかけては、第2期鎌倉市観光基本計画の見直しの年となっております。本部会議を中心とした観光振興の取組みをさらに進めていくためにも、アクションプランの見直し等、体制を含めて、見直しすべきもの、改善すべきものはしっかりと改善をしていく姿勢で取り組みたいと考えております。また、その他に本日は第62回鎌倉花火大会の〇〇実行委員長さん、鎌倉花火個別検討部会の〇〇部会長さんにも、ご参加をいただいているところでございます。どうぞよろしくお願ひいたします。本日の会議が実りあるものになりますようお願い申し上げます、私の冒頭の挨拶にさせていただきます。本日は、宜しくお願ひいたします。

それでは、引き続き会議に入らせていただきます。会議の次第に基づきまして、庶務事項から始めたいと思います。庶務事項の会議の公開等について事務局から説明をお願いします。

事務局

観光課長の〇〇でございます。よろしくお願ひいたします。

庶務事項についてですが、会議の公開につきましては、観光課のホームページで募集いたしましたのですが、本日の傍聴希望者はおりませんでした。以上でございます。

本部長

ありがとうございました。それでは、3の議題(1)報告事項の(ア)鎌倉市観光基本計画の進行管理状況とその評価について、事務局と進行管理委員会の〇〇委員長から説明をいただきますが、進行管理委員会は、鎌倉市観光基本計画進行管理委員会設置要綱に基づき、第2期鎌倉市観光基本計画に基づくアクションプランが、確実に推進されているかを評価し、適切な進行管理を行う組織であり、基本計画の進捗状況の評価、検証についてご審議いただいております。それでは、説明をお願いします。

事務局

「鎌倉市の観光事情」の平成22年度版について説明させていただきます。資料1をご覧ください。表紙をめくりまして、目次をご覧ください。この「鎌倉市の観光事情」は、1の「進行管理状況評価報告書」と、2の「平成21年度実績概要」の2つで構成されています。最初に8ページ以降の「平成21年度実績概要」について、事務局から説明させていただきます、その後、1の進行管理状況評価報告について、進行管理委員会の〇〇委員長からご報告がございます。

それでは、9ページをお開きください。「平成21年度の実績概要」は、21年度の実績を観光課でまとめたものでございます。1の「平成21年11月の提言を受けた取り組み内容」は、昨年の平成20年度実績評価を踏まえ、進行管理委員会から7つの提言をいただきました。それぞれの提言に対する取組みをまとめたものでございます。1の「市民の理解を深める取り組みの充実」では、本年2月27日に妙本寺で開催した観光振興シンポジウムの内容について記載しております。10ページにまいりまして、2の「点から面への連携強化」では、鎌倉市内でイベント活動を行っている団体に呼びかけ「仮称イベント連絡会」を20年度に開催したものの、その後、開催されていないため、新たなネットワークも含めて検討を行いました。3の「各種統計データの充実」では、従来の観光客数調査や観光消費額のデータ収集、処理に加え、今後は国や県と連携しながら、データ収集と活用について検討を行うとともに、21年度からは、外国人観光客の意識調査を開始しました。4の「情報共有と情報発信の強化」では、ワーキンググループを設置して、鎌倉の観光情報を集約して、観光客が欲しい情報をどのように発信していくか、その仕組みについて整理、検討を行いました。5の「観光を横串とした地域連携の体制作り」では、2の「点から面への連携強化」や4の「情報共有と情報発信のシステム化」を進めていくことで、地域連携が充実すると考えており、できることから取り組みました。6の「観光需要の平

準化」では、観光客の地域、時間、季節による偏りを平準化するため、観光資源を調査していく中で、解決に向けた方策を検討することとしました。7の「優先順位と横断的な取り組み」では、財政状況が厳しい中、効果的な他都市との連携をどのように行っていけばよいかなどの検討を行いました。

11ページにまいりまして、11ページから16ページにつきましては、現在の観光基本計画の推進体制と、推進本部及び振興管理委員会の開催、活動状況。各個別検討部会の開催状況、審議内容をまとめております。

12ページにまいりまして、推進本部会議は、21年度には、4月、5月、12月の3回開催いたしました。観光基本計画進行管理委員会は、10月と11月の2回開催し、20年度の取組みに対する評価・検証を行い、最終的に評価報告書としてまとめていただきました。

13ページから16ページをご覧ください。個別検討部会は、部会ごとに個別テーマの検討を行った結果、提言としてまとめた部会もございます。各部会の開催状況と審議内容は表のとおりとなっております。

17ページをご覧ください。次に、22年度の観光振興推進本部取組み方針について説明いたします。こちらは、21年度の目標指標に関するデータや、前年度の進行管理委員会の提言を踏まえ、本年5月に開催いたしました当本部会議において承認されたもので、今年度取組みを進めているものでございます。

続きまして、18ページになりますが、5つの目標指標についてまとめてあります。表の左端に番号をふってありますが、1の「観光客の満足度（鎌倉に来る前の期待と比べた全体的な満足度）」は、20年度、73.9%に対し、21年度は、74.0%で、0.1%の上昇。2の「市民の満足度（観光都市の魅力と独自性に関する市民の満足度（納得度）」は、20年度、80.6%に対し、21年度は、81.0%で、0.4%の上昇。3の「観光客数」は、20年度、1,934万人に対し、21年度は、1,883万人で51万人の減少。観光客数につきましては、天候にも大きく左右され、21年度は花火大会が荒天のため中止になったこと。夏の天候不良による海水浴客の減少が大きな要因でございます。4の「宿泊客数」は、20年度、32万8千人に対し、21年度は、32万5千人で、3千人の減少。これは、3の観光客数の減少に伴うものと考えております。5の「海水浴客数」は、20年度、113万4千人に対し、21年度は、78万5千人で、34万9千人の減少でございます。ちなみに、平成22年度の海水浴客数は約95万人で、21年度の客数には届きませんが、概ね目標値を保っております。

19ページから31ページは、これらの指標のグラフ表示やクロスデータなどを掲載しておりますが、時間の関係もあり、説明は省略させていただきます。データ内容等について、何かご不明な点等ありましたら、後ほど事務局まで問い合わせさせていただきますようお願いいたします。

次に、32ページから38ページは、「観光課の事業概要」として観光課の主な事業結果や資料請求やホームページ、観光案内所での情報提供の状況などについて紹介しております。

39ページから51ページは、アクションプランの進捗状況をまとめたものです。20年度の実績と21年度の計画、実績を一覧にしてあります。

52ページ以降のデータは、観光消費額の推移、主要交通機関の利用状況、アンケートの集計となっております。実績概要の説明は、以上でございます。

引き続きまして、1ページからの平成21年度実績を踏まえた「進行管理状況評価報告書」につきましては、〇〇委員長からご報告をお願いいたします。

本部長

慶應義塾大学の〇〇でございます。進行管理委員会の委員長を仰せつかっております。昨年度の実績概要と評価については、事務局からご報告いただいたとおりでございますが、進行管理委員会で幾つかのポイントが議論されまして、それについて簡単にご報告させて

いただきたいと思います。

非常に良かった点は、実績概要の9ページ10ページに記載されておりますが、シンポジウムであるとか、個別の検討部会を始めとして、市民の皆様非常に理解が深まったといえますか、多くの市民の皆様手伝っていただきながら、鎌倉の国際的な観光振興ができたというのが、21年度の実績といたしましては、評価が高い点でございました。

一方で、18ページの実績数値を見ますと、観光客数が減ったりとか、海水浴客数が減ったりとか、そのような数字が挙げられておりますが、21年度全般につきましては、日本全体がリーマンショックであったりですとか、色々な国際的な観光客数の減少と言うのが挙げられております。世界観光機関の統計にも、世界的に観光客数が減少している傾向がございますので、あまり21年度の数字だけ見て、鎌倉の観光客数が減ったと言うような結論とするのは、短絡的だとのご意見が多く寄せられておりました。

また、一方で18ページにあるような実績数値など、冒頭に市長からも今年度、来年度観光基本計画の見直しの時期にあたりとご説明がありましたが、次の5年間見直して行くにあたって、どういったアウトカムの指標を運用していくのかであるとか、実際にどういった観光指標について、どう見直すべきなのかについては、様々な意見が出されておりました。特に、アウトカム指標につきましては、5年前、6年前に観光基本計画を作成した際に、これは鎌倉で実質的に初めて観光基本計画を作成させていただいたのですが、アウトカム指標を掲げるのは初めてということもありまして、目標の数字がやや意欲的すぎるのではなかったか、そのような意見も多く出されておりました。果たして満足度が80%~90%といった数字が、達成しうるかどうかは、もう少し見直しても良いのではないのかという意見も出されておりました。

今後の課題であるとか、提言につきましては、お手元の5ページ6ページに課題等を整理させていただいておりますが、観光客数の実数の伸びについては、先ほどご説明したように、世界的な状況もございますので、あまり数字ばかりに囚われてはいけないのですが、5年前、6年前から課題としていました3. にありますように、鎌倉は観光統計のデータがまだ充実しきっていません。特に今、国県を中心として宿泊統計であるとか、観光の施策に伴う経済波及効果とそのような分析をツーリズムサテライトアカウントとか、そのような指標を使って世界標準で分析するのが通常になって来ていますけれども、まだまだ鎌倉というのは、それらのデータの視点からも遅れていると言えます。5年前から指摘されていたにも関わらず解決されていないものとしては、このようなデータの充実が考えております。

もう一点は、6ページの5. とか8. に書いてありますように、今日の会議も約1時間程度で、ほとんど実質的に鎌倉の観光戦略について審議されながらも、次に我々が進行管理委員会で検討しているといった状態が続いておりますので、地域全体としてどのように連携の体制を作っていくのか、さらに見直しの時期に関わらず、どこで観光政策の特に戦略的部分を議論すべきなのかといったことについては、かなり批判的な意見も多く出されておりましたので、世界都市、世界的観光都市鎌倉といつつ、どこで観光の戦略を議論するかといった事については、かなり弱点ではないかということは、我々の委員会でも議論されました。また、大きく議論されたところは、そのような点ですが、先日もオバマ大統領が来られたようですけれども、今後このような世界的なVIPが来られた時にも、世界的なメディアでもあまり取り上げられていなかったもので、世界的情報発信をどのように戦略的にしていくのかということについても、これから深く議論出来るような場作りが結構必要ではないかと考えております。このような課題を踏まえて、次の観光基本計画の見直しというものがなされるべきではないかと我々の進行管理委員会でも議論されました。

以上でございます。

本部長

ありがとうございました。進行管理委員会の委員長としてまとめていただきました。

観光課作成の実績報告と進行管理委員会作成の評価報告書につきまして、ご意見ご質問

等ありましたらお願いいたします。

特に無いようであれば了承という事でよろしいでしょうか。

(了承の声あり)

はい、かしこまりました。それでは、ご了解いただいたということで、今回ご報告いただきました課題、提言につきましては、事務局で検討して次回の会議で具体的な提案をしていただきたいと思いますと思いますけれどもいかがでしょうか。

(異議なしの声あり)

はい、わかりました。それでは事務局の方で検討をしていただきたいと思います。

次に、報告事項の(イ)第62回鎌倉花火大会について報告をお願いいたします。

では、〇〇委員長よろしくをお願いいたします。

花火大会実行委員長

第62回鎌倉花火大会実行委員長を務めさせていただきました〇〇でございます。

まず、最初に今年の花火大会ですが、皆様のご協力をいただきまして無事に終了する事ができました。ありがとうございました。

それでは、今年の花火大会につきましてご説明いたします。日時は、平成22年7月21日水曜日。打ち上げ開始が午後7時、打ち上げ終了が午後8時15分。観客数は13万人。これは主催者発表の数字です。大きな特徴といたしましては、例年の8月に開催してきた日程から7月へ大きく変更になりました。また、プログラムの選考等、様々な取り組みをさせていただきました。収支決算につきましては、お手元の資料でございますのでご覧いただければと思います。詳細についてのご説明は、割愛させていただきますが、若干のご説明をさせていただきます。負担金、協賛金、広告料等は、各記載の通りになっております。総収入は31,198,834円でした。収入面で、新たな目標でありました大口スポンサーを獲得することができました。それによって、プログラム協賛金が大きく増額となりました。また、反対に有料席の販売と募金については、目標金額に足りなかった面がありました。支出につきましては、詳細はこの表の記載のとおりですが、予備日を使わず一日で開催できたことで予備日の経費を支出せずに済みました。ただ、準備を進めていく中で、支出が増えてしまった分、当初の予算よりも増えてしまった面もございました。収入と支出の差額は6,532,751円となりまして、これを次回開催準備金といたします。

以上、簡単ですが第62回鎌倉花火大会のご報告とさせていただきます。

本部長

〇〇実行委員長ありがとうございました。皆様から何かご意見ご質問等ございましたらお願いいたします。

副本部長

花火を見に来た人達からの声とかを聞いていますか。

花火大会実行委員長

終わった後に、ご協賛いただいた方等に幾つかご意見を頂いたことはあります。ご意見には、プログラムに関しては、例年になく色々な読み物があって非常に良かったのではないかとお言葉を頂きました。また、花火自体の内容につきましては、鎌倉の花火は、例年他の地域の花火に比べると、数多くどんどん上げるという感じではないのですが、少し間が延びてしまったようなところがあったのではというご意見もありました。それとスタートする時間が、例年になく7時にスタートしたのですが、これは少し想定が甘かったところですが、上げる時間が早く少し明るかったとの意見がありました。それからデータの的には、打ち上げ花火自体の発数が寂しいのではないのか。いつもより迫力がなかったのでは

ないかというお声も頂いております。

本部長

よろしいですか。他にはいかがでしょうか。

それでは、特にないようですので、報告につきましてはご了承ということでよろしいですか。

(了承の声あり)

はい、ありがとうございます。

次に(2)の審議事項に入ります。鎌倉花火大会について、〇〇花火個別検討部会長からお願いします。

部会長

〇〇と申します。よろしく申し上げます。着席のまま失礼します。

私どもの個別検討部会では、これまで開催してまいりました花火大会を一度きちんと見直す必要があるのではないかと、そのような時期に来ているのではないかという事、予算面と実施、両面から検討し直そうという事で来年度に向けての検討を開始させていただきました。

第一に、花火大会の開催趣旨というのが、今まで幾つかその年によって提言されております。こちらの開催趣旨というものを統一してきちんと作るべきではないかという観点から、本日、皆様方のお手元に開催趣旨の案を出させていただいております。恐縮ですが一読させていただきます。「鎌倉花火大会開催趣旨。鎌倉花火大会は、第2期鎌倉市観光基本計画で目指すところの、住んでよかった、訪れてよかった鎌倉の実現に寄与する事業の一つとして行われ、その経済波及効果から市内商工業、観光業の発展の一助ともなるべく行政、関係団体、市民及び市民団体が連携し、地域一丸となつての開催を目指すものである。古都の一つで歴史と文化のまち、意識の高いまちなど、それぞれの鎌倉のイメージを踏襲し、まちの品位を損なわない風物詩として、市民に愛され、訪れた人々に喜ばれる事業としての実現を目標とする。また、本事業は、その社会貢献性の面からも、市民、企業からの積極的な支援、参画を広く呼びかける。鎌倉花火大会に係る全ての事案は、本開催趣旨から判断する事とする。」というような開催趣旨を提案させていただきます。これによって、きちんと何の為の鎌倉花火大会なのか、まちの為、住んで良かった、訪れて良かった鎌倉を具現化する一つの鎌倉のまちづくりの事業として、きちんと捉えて開催されるべきではないか。また、現在実行委員会組織で行われている花火大会というのは、あまり広く認知されておりません。これは、鎌倉に住む方、鎌倉の企業の方、すべての予算面、人的な面の協力が行われているものであって、その辺を広くもう一度認知させていただいて、鎌倉市全域、地域一丸、オール鎌倉で花火大会が行われるべきであろうと考えまして、この様な開催趣旨を提案させていただきます。また、末文の全ての事案は本開催趣旨から判断する事とありますのは、年によって色々な協賛、新しい事案が出ると思います。その時に、この開催趣旨に見合うかどうかの一つの判断基準として、実行委員長も毎年同じ方ではありませんので、どなたが実行委員長をやられても、開催趣旨から逸れない開催を目指すという意味で、一文入れさせていただきました。

次に、その下に※で実行委員会についてという一文を書かせていただきましたが、実行委員会は、昨年、〇〇実行委員長の努力もございまして、大口のスポンサーを取り入れることに成功いたしました。また、警備体制も徐々に確立されていった一年目であると私は認識しますので、来年度の花火大会実行委員会には、できれば昨年度の人事体制そのまま移行していただいて、検証も含めて同じメンバーで進めていただくことがよろしいのではないかと提案させていただきます。ただし、実行委員会に新たに鎌倉市長を名誉実行委員長としてお入りいただき、副実行委員長として商工会議所会頭、商店街連合会会長、観光協会会長、海浜営業組合からの代表者、それぞれが副実行委員長として参画していただきまして、先程申し上げた地域一体、オール鎌倉という意識を実行委員会内でも波及させい

ただきたいと考えております。実行委員会に関しては、そのような組織を提案させていただきます。

続きまして、資料3-2をご覧ください。こちらは、来年開催するにあたりまして、予想される予算案を計上させていただきました。例年の決算から取り立てて大きな変更点を申し上げます。まず、収入の部の大口広告料に1千万円の収入を計上しております。これは、本日を含めてお願いをすることですが、毎年開催日の選定がここ何年か遅れております。それによって各企業さんへの広告のお願い、協賛のお願いをすることが遅れております。それを今年是正させていただいて、早めに開催日を決定させて頂く事により、幅広い市内外の各企業等にお声掛けをする事で、大口広告料の獲得を目指します。実際、現時点の花火大会の開催を金額に直しますと、どうしても3千万円という必要経費がカウントされてしまいます。それを市の負担金だけでやって行くというのは、事実上市にとっても大変な事であると思いますので、早い時期に決定することによって市内外、幅広い広告料を獲得する可能性がある事から、こちらは新しい試みですが、大口の広告料の獲得を目指して行きたいと思っております。また、オール鎌倉で行われる事業ですが、例年募金額というのは微々たるものしか当日を含めて集まりません。募金の手法等を検討して、何とか50万円を市民の方々、また当日見物に来た方々から募金していただけるよう努力もするべきであると考えます。下段の支出の部ですが、例年花火の打ち上げ関係費は、ここ数年700万~800万円の打ち上げ費用で、1,500~1,700発程度の予算組をしております。本来の花火大会は、やはり花火がメインであるべきですので、来年は1千万円の花火に関する費用の支出をして、最低2,000発以上の花火の打ち上げを目指したいと思っております。また、それぞれの経費は、特に例年と変わったところはありませんが、警備関係費がここ数年増えております。この警備関係費で警備を薄めることなく、額を下げっていくのにどういう工夫が必要かと言うことも、一つテーマとなると思っておりますので、後ほど説明いたしますが、警備関係費と花火打ち上げ費用の相対関係をもう一度見直すべきだと思っております。

3枚目の資料の3は、私見という事になっておりますが、本日ご提案いたしますのは、先ほどの大口広告料の獲得も目指して、早めの開催日の決定が必要ではないかと考えます。花火大会は、例年8月10日に行われていましたが、いらっしゃるお客様の増加、警備体制が非常に苛酷になっている状況を考えますと、7月の花火大会の開催が望ましいのではないかと思います。一概には申し上げられませんが、昨年度は、7月の海水浴客が9万人から23万人に増加しております。8月の海水浴客は、お手元の資料の通り6万人減少しています。この増加分は、すべてが花火大会での増加分と言う訳ではありませんが、こちらの増加分を繁忙日ではない7月から8月に得られ、また、その経済波及効果は中々計算する事が難しいのですが、5億から6億円の経済波及効果があるのではないかと、また、この様な説明をする為にも、鎌倉の花火大会はどの様な経済効果があったか毎年検証していくべきではないかと思います。よって警備やお客様の充実度、経済波及効果などの観点から7月の開催が望ましいと考えております。具体的な要件といたしましては、学校の終業式以降夏休みに入ってから。漁協組合さんとの兼ね合いを図る。市内の大きな行事と重ならない。土曜、日曜の開催を避ける。以上の要件を満たしますと、7月20日水曜日21日木曜日の開催。21日木曜日、22日金曜日の開催、25日月曜日、26日火曜日の開催。予備日を含めまして、そのいずれかの開催日が望ましいと思っておりますが、7月に開催する事を皆様にご承認いただければ、具体的な開催日に関しては実行委員会で決定をさせていただこうと考えております。先ほど〇〇実行委員長からも申し上げましたとおり、本年度の反省といいますか意見から、打ち上げ発数が少なかったのではないかと、明るい内から上げた花火が果たして効果的なものかと言う声が観光協会等に多数寄せられた事を聞いております。こちら提案でございますが、来年度は開始時間を30分遅らせていただき7時30分の開催。それに伴い、今年15分程予定がずれまして、警備関係、鎌倉警察署さん始めご迷惑をかけてしまった経緯もございます。本来であれば15分早めて行う事を検討すべきなのですが、煙が蔓延してしまっただけで今上げてしまっただけなら花火が無駄になるシチュエーションもここ数年多々見かけておりますので、その辺のロスタイムも見込んでいただ

いて、1時間30分で9時までの開催を提案させていただきます。こちらも現状の要望を頂いたご意見、現在の理想とする花火大会の開催時間という事ですので、実行委員会が設置された後、関係各所と打ち合わせて決められるべき事案ではございますが、個別検討部会といたしましては、望ましい時間帯ということでご提案させていただきます。

以上、長くなりましたが、個別検討部会としてのご提案ということでお取り扱いをお願いします。

本部長

ありがとうございました。只今のご提案につきまして何かございますか。

本部長

先ほど、観光基本計画の進行管理委員会の方からお話がありましたが、世界的なレベルで観光都市として国際都市を考えて鎌倉の観光を見直すべきだと私も思いますが、花火大会も立派な開催趣旨がありますが、もう一つ付け加えたい事は、海の観光です。海の観光と言いますと、私は世界遺産関係のお手伝いをしていますと、外からいらっしゃる方々が、歴史の都として、城郭に囲まれたまちだと思って来ると、海があり、山があり、遺跡がありと非常に見事なまちだと感心されます。これは、やはり山の保存、山の景観等いろいろありますが、市民が親しめる観光客が親しめる花火なのですが、去年の鎌倉ケーブルテレビの放送など見てみると、非常に鎌倉らしさが出て来ていいなと思いました。私も前にお手伝いしたことがあります、中々花火というただ見て楽しむ、他の都市にもある、お金を掛ける、派手になる、色々な事があります。鎌倉らしさを考えますと、海は観光というよりも、本当は信仰の対象です。禊ということで八幡宮の神事の時は、必ず海に入ります、若宮大路が海で終わっています。これは世界に例がない事です。その海の神を祭る鎌倉カーニバルは、国際都市を目指して戦前から戦後行われておりました。今は無理ですが、これは海浜の信仰と言うことで鎌倉カーニバルをいたしました。あれは鎌倉らしい非常に素晴らしい行事です。鎌倉まつりも武者行列もやって、色々な事していますが、やはり一番の基本は海の一の鳥居から八幡宮に向かって若宮大路に進む。これは鎌倉にとって本当に素晴らしい行事です。花火も私が思うのですが鎌倉らしさを取り入れて見事です。鎌倉の花火は、予算も先ほど〇〇さんからも言われましたが、お金も大切ですが、そこに鎌倉らしい精神をこめて海の信仰の中に鎌倉の観光が、そして外の人に来て楽しむ、周囲も楽しむ、そのような精神が入ってほしい気がいたします。

本部長

貴重なご意見ありがとうございました。他にご意見ございますか。

鎌倉警察署

鎌倉警察署の宮崎です。よろしく願いいたします。

ただ今、個別検討部会長の私見ということで、来年の花火大会関係のお話を伺いましたが、警察といたしましては、花火大会が無事に終わっていただいて、また、来られる方が安全に見ていただけることを第一に考えておりますので、この私見に書かれております開催日、開催時間午後7時30分から9時につきましても、今後行われる部会があると思いますので、その中で具体的に調整をさせていただきたいと思っておりますので宜しく願いいたします。以上です。

本部長

ありがとうございます。開催日や開催時間等については、鎌倉警察署と十分調整して進めたいと思います。

他にはございますか。

副本部長

審議事項で第63回鎌倉花火大会についてとありますが、中込さんからお話いただきましたが、何と何を審議するのですか。

部会長

まず、冒頭でご説明しました開催趣旨をご審議いただきたいと思います。それと下段の実行委員会の設置をお願いしたいのですが、その設置も昨年と同じ人事体制を含む新たな副実行委員長のご任命も含めて、実行委員会についての審議、それと予算の審議です。また、先ほど副署長からもありましたとおり、私見も含めて見ていただき、このまま予算書と私見を一緒に実行委員会にお渡しするという事を含んでご審議いただければと思います。

本部長

ありがとうございます。ただ今説明いただいた内容について改めてご意見等ありましたらお願いいたします。

副本部長

個別検討委員会そのものの位置づけというのは、どのようになつたら一番望ましいのかを考えて作られたのが個別検討部会だと思います。個別検討委員会が、このような形が良いと思う姿で、実行委員会が進めて行く形がいいというのが提案であって、ここで承認されると、次に認められて実行委員会の方々は、この予算書と内容に沿って動いていけばいいということになって、ある程度の枠の中で個別に交渉したり、例えば、時間の問題とか漁業組合さんの問題とかは、実行委員会の中でそれぞれ個別にやってくる事になるのですね。

部会長

おっしゃるとおりです。

副本部長

それでは、個別検討部会としては、このような格好で実行委員会に申し送りしまして、実行委員会は、その枠の中でやっていただきたいという要望ですね。

部会長

はい。

本部長

その他いかがでしょうか。

それでは、ただ今報告いただいた内容で、〇〇委員、鎌倉警察署さんからご意見をいただきました点を含めまして、実行委員会の方で充分協議をして決定していただきたいと思いますが、その様な流れでよろしいでしょうか。

(了承の声あり)

それでは、詳細につきましては、実行委員会で決定した段階で速やかに皆様に文書で連絡していただきと思いますのでよろしく願いいたします。

副本部長

鎌倉市長が名誉実行委員長となっておりますが、名誉大会会長の方がよろしいのではないのでしょうか。

本部長

名誉実行委員長と書かれておりますが、名誉大会会長の方がよろしいのではと言われま

したので、そのように変更させていただいてよろしいでしょうか。

(了承の声あり)

〇〇部会長からも話がありましたが、実行委員会の体制について同様の人事体制でという事でしたが、委員長につきまして、この場で指名をするのがよろしいのではないかと思います、引き続き〇〇実行委員長さんをお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

(異議なしの声あり)

それでは、来年に向けてそのような体制でお願いいたします。

花火大会実行委員長

はい。よろしくをお願いいたします。

本部長

それでは、その他について事務局からよろしくをお願いいたします。

事務局

観光協会の方から、鎌倉まつりと薪能についてお話をお願いしたいと思います。

観光協会

観光協会の〇〇でございます。よろしくをお願いいたします。お手元の資料をご覧くださいと思います。第52回鎌倉まつり、第52回鎌倉薪能が、それぞれ例年通り行われました。今年は、新たに鎌倉讃歌と名付けまして、着物の似合う街鎌倉を国内外へ発信しようという事で、6月に建長寺さんをお借りしまして着物ショー、8月は鶴岡八幡宮さんのぼんぼり祭りと合わせまして浴衣ウォークを開催いたしました。どちらもミス鎌倉あるいは元ミス鎌倉のりんどう会、ミス鎌倉の本選に残りましたメンバーに参加していただき、それぞれの行事を行いました。鎌倉から着物というものを、もう一度アピールしようという事で行ったもので、浴衣ウォークに関しては、来年以降も継続してやっていこうと考えております。詳細は、資料等をご覧くださいければと思います。簡単ですが、以上です。

本部長

はい、ありがとうございました。ただいまの報告につきまして、何かご質問ご意見がありましたらお願いします。

(なしの声あり)

それでは、その他事務局からお願いします。

事務局

お手元にお配りしております第9回本部会議の議事録でございますが、今後ホームページに載せる予定ですので、それぞれご確認をしていただきまして、修正等がもしございましたら、22日頃までにご連絡をいただきたいと思っております。

次回の開催日でございますが、先ほど進行管理委員会の古谷委員長からの報告の中で、体制の見直しという部分がございます。これにつきましては、本部長の方から検討するようにご指示がありましたので、今後、事務局の方で色々調整をしながら進行管理委員会のご意見を頂戴して、来年の3月頃に本部会議を開催していただきまして、報告できればと考えております。

本部長

長時間に渡りましてご審議いただきまして誠にありがとうございました。これをもちまして、第10回の本部会議を終了させていただきます。ありがとうございました。